



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 東洋埠頭株式会社

上場取引所 東

コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原 匡史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部審査課長

(氏名) 佐古 一彦

TEL 03-5560-2702

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,176	6.1	1,452	14.6	1,615	10.0	1,086	11.8
29年3月期第3四半期	23,719	△3.1	1,267	7.4	1,468	21.9	971	28.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,845百万円 (13.4%) 29年3月期第3四半期 1,626百万円 (97.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	141.03	—
29年3月期第3四半期	126.15	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	39,343	20,330	51.5	2,629.39
29年3月期	37,836	18,874	49.7	2,441.51

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 20,255百万円 29年3月期 18,810百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—	2.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は2.5円となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	4.5	1,600	2.2	1,700	△2.5	1,100	△2.7	142.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,740,000 株	29年3月期	7,740,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	36,543 株	29年3月期	35,573 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	7,704,290 株	29年3月期3Q	7,704,669 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 3をご参照ください。

2. 株式併合後の業績予想及び配当について

当社は、平成29年6月28日開催の第106回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想、配当予想は以下のとおりとなります。

- ・平成30年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益) : 14.28円
- ・平成30年3月期の配当予想 : 第2四半期末 2.5円(注1)、期末 2.5円(注2)

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は5円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりです。

(国内総合物流事業)

国内総合物流事業の営業収入は232億1千8百万円(前年同期比4.2%増収)、営業利益は13億8千万円(前年同期比15.7%増益)となりました。

倉庫業は、合成樹脂、その他の食料工業品等が増加し、入出庫数量は275万トン(前年同期263万トン)、平均保管残高は27万トン(前年同期26万トン)となりました。

港湾運送業は、ばら積み貨物の取扱数量は、残土、穀物類および石炭類等が増加し、401万トン(前年同期372万トン)となりました。コンテナの取扱数量は、川崎港等での取扱いが増加し、165千TEU(前年同期141千TEU)となりました。

自動車運送業は、貨物全般の荷動きが増加し、前年同期を上回りました。その他の業務は、輸入貨物の取扱いが増加し、これに伴う収入が増加しました。

(国際物流事業)

国際物流事業の営業収入は22億9百万円(前年同期比32.4%増収)、営業利益は6千3百万円(前年同期比3.7%減益)となりました。ロシア周辺国向け貨物の取扱いが拡大したことから増収となりましたが、輸送費用などが増加し、減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収入251億7千6百万円(前年同期比14億5千7百万円、6.1%増収)、営業利益14億5千2百万円(前年同期比1億8千4百万円、14.6%増益)、経常利益16億1千5百万円(前年同期比1億4千6百万円、10.0%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億8千6百万円(前年同期比1億1千4百万円、11.8%増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億6百万円増加し、393億4千3百万円となりました。流動資産は、現金及び預金や受取手形及び営業未収入金の増加に伴い、5億5千7百万円増加しました。固定資産は、株価の上昇により投資有価証券が増加したこと等で、前連結会計年度末に比べ9億4千9百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ5千万円増加し、190億1千2百万円となりました。借入金は長期短期合わせて7億円減少しましたが、未払法人税等や繰延税金負債が増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14億5千6百万円増加し、203億3千万円となりました。利益剰余金が7億円、その他有価証券評価差額金が7億3千5百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は51.5%で前連結会計年度末比1.8ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までは、業績は堅調に推移しておりますので、平成29年5月12日に発表した通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678	2,009
受取手形及び営業未収入金	3,744	4,000
原材料及び貯蔵品	159	159
前払費用	108	197
繰延税金資産	197	131
その他	378	327
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	6,267	6,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,800	51,402
減価償却累計額	△37,873	△38,512
建物及び構築物(純額)	12,927	12,889
機械及び装置	19,895	20,010
減価償却累計額	△17,832	△18,102
機械及び装置(純額)	2,062	1,908
船舶及び車両運搬具	1,178	1,164
減価償却累計額	△1,076	△1,074
船舶及び車両運搬具(純額)	102	90
工具、器具及び備品	983	990
減価償却累計額	△869	△885
工具、器具及び備品(純額)	114	104
土地	8,461	8,461
リース資産	73	79
減価償却累計額	△31	△42
リース資産(純額)	41	36
建設仮勘定	67	171
有形固定資産合計	23,777	23,662
無形固定資産		
リース資産	—	2
その他	319	349
無形固定資産合計	319	351
投資その他の資産		
投資有価証券	5,811	6,879
長期貸付金	14	12
繰延税金資産	160	161
その他	1,517	1,483
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	7,471	8,504
固定資産合計	31,568	32,518
資産合計	37,836	39,343

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,924	2,965
短期借入金	6,119	5,704
リース債務	14	15
未払金	953	813
未払法人税等	72	403
設備関係支払手形	191	374
その他	907	854
流動負債合計	11,182	11,131
固定負債		
長期借入金	5,694	5,408
リース債務	27	23
繰延税金負債	80	387
退職給付に係る負債	1,752	1,834
役員退職慰労引当金	21	21
資産除去債務	61	55
その他	140	149
固定負債合計	7,779	7,881
負債合計	18,961	19,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	4,089	4,790
自己株式	△57	△60
株主資本合計	17,475	18,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,401	2,136
為替換算調整勘定	130	130
退職給付に係る調整累計額	△196	△184
その他の包括利益累計額合計	1,335	2,082
非支配株主持分	64	75
純資産合計	18,874	20,330
負債純資産合計	37,836	39,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日)
営業収入	23,719	25,176
営業原価	21,164	22,338
営業総利益	2,555	2,837
販売費及び一般管理費	1,287	1,385
営業利益	1,267	1,452
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	124	131
受取地代家賃	66	68
その他	147	83
営業外収益合計	338	283
営業外費用		
支払利息	125	106
持分法による投資損失	5	7
その他	6	5
営業外費用合計	137	120
経常利益	1,468	1,615
特別利益		
固定資産売却益	7	3
受取補償金	51	—
特別利益合計	58	3
特別損失		
固定資産除却損	97	27
特別損失合計	97	27
税金等調整前四半期純利益	1,429	1,591
法人税、住民税及び事業税	10	448
法人税等調整額	449	44
法人税等合計	460	493
四半期純利益	969	1,097
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△ 2	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	971	1,086

(四半期連結包括利益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	969	1,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	616	730
為替換算調整勘定	9	△0
退職給付に係る調整額	27	12
持分法適用会社に対する持分相当額	3	5
その他の包括利益合計	656	747
四半期包括利益	1,626	1,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,628	1,833
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内総合物 流事業	国際物流 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,184	1,534	23,719	—	23,719
セグメント間の内部売 上高又は振替高	88	134	222	△ 222	—
計	22,272	1,669	23,942	△ 222	23,719
セグメント利益	1,193	66	1,259	7	1,267

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内総合物 流事業	国際物流 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,118	2,058	25,176	—	25,176
セグメント間の内部売 上高又は振替高	100	151	251	△ 251	—
計	23,218	2,209	25,428	△ 251	25,176
セグメント利益	1,380	63	1,444	7	1,452

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。